



高知フアイティング  
ドッグス(FD)球団に  
今春、新潟県出身の女  
性が入社した。高知大  
卒の野水愛さん(22)。  
「スポーツチームを応  
援することで自分が救  
われた経験から、「応  
援文化をもっと広げた  
い」と意気込む。

野水さんは家族3世  
代そろってサッカーJ  
2「アルビレックス新  
潟」の熱狂的ファン。  
3歳からスタジアムに  
通い、小学5年時には  
アルビのチアリーダー  
学校に入学した。中学

時代、人間関係のこじ  
れで保健室登校が続い  
たが、「アルビを応援す  
ることで自分も励まし  
られた」。この経験が、応  
援文化を広げたいとい  
う原動力になった。

高知大に進んだのは

## FDで応援文化広げたい

「サッカー文化が育つてない場所です。応援文化を確立したかった」とか「愛ちゃんと親しまれら。アルビが毎春、高知キャンプを行うこと」も後押しになった。

FDとの関わりは大1年時から。地域協働学部の実習でチーム



高知FDで働く野水愛さん  
(高知市大谷公園町の球団事務所)

れをくれたり。大学卒業に際し、「高知で家族のような人たちに出会えた。恩返しを」とFD就職を決めた。

今は球場で試合の準備をし、グッズを販売。アナウンスも担当する。コロナ禍で選手とファンとの直接的な交流は消え、声を上げたの応援もできなくなったが「新しい応援の形はあるはず」。選手への手紙を預かるボックスを置く企画を提案、実現させた。

野球でもサッカーでも、「チームが、地元にあつて良かったと思つてもらえることが一番」と笑う野水さん。挑戦は始まったばかりだ。

(報道部・村瀬佐保)